

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和元年5月31日 報告

担当課

廃棄物対策課

補助金等の名称	佐倉市生ごみ減量化促進事業補助金						
予算科目	一般会計	款	4	項	2	目	2
予算事業名	減量化促進事業						
実施計画の位置づけ	ごみの減量化を図ります						
補助金分類							
国県補助の状況	国県補助なし						千円
交付先	個人						
支出根拠規定	佐倉市生ごみ減量化促進事業補助金交付要綱						
補助の目的	生ごみ減量化容器(コンポスト、発酵菌式生ごみ減容器)または生ごみ処理機(電気式)の設置により、一般家庭から排出される生ごみを減量することでごみの減量化を図る。						
補助の効果	生ごみ堆肥化容器(コンポスト、発酵菌式生ごみ減容器)は屋外に設置するため劣化しやすく数年で買い替えが必要になり、生ごみ処理機(電気式)は5万円から7万円と高額なため、補助金の交付により市民の経済的負担を軽くし、生ごみ処理機器の設置を促進することでごみが減量できる。						
補助対象事業の具体的内容	生ごみを堆肥化して利用する生ごみ堆肥化容器(コンポスト、発酵菌式生ごみ減容器)または、生ごみを乾燥させることで1/7から1/8まで減量し、肥料として利用できる生ごみ処理機(電気式)を市の指定店で購入し、設置する市民に購入費の一部を補助する。						
対象経費及び補助率	生ごみ堆肥化容器(コンポスト、発酵菌式生ごみ減容器)は、販売価格(税別)の1/3で上限は2,000円。生ごみ処理機(電気式)は、販売価格(税別)の1/4で上限は10,000円。						
補助金額の根拠	佐倉市生ごみ減量化促進事業補助金交付要綱						
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他						
補助期間	平成27年 4月 1日～平成32年 3月31日						

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	廃棄物対策課	
補助金等の名称		佐倉市生ごみ減量化促進事業補助金		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	360	コンポスト30基×2,000円、発酵菌式50基×2,000円、電気式20基×10,000円	153	コンポスト32基、発酵菌式24基、電気式7基
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	達成率(販売数):コンポスト107%、発酵菌式48%、電気式35%、電気式は高価のため売れにくい。今後も広報誌やホームページ等による制度の周知に努める。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	360	コンポスト30基×2,000円、発酵菌式50基×2,000円、電気式20基×10,000円	156	コンポスト22基、発酵菌式19基、電気式10基
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	達成率(販売数):コンポスト73%、発酵菌式38%、電気式50%、前年度より販売総数が12台減。今後も広報誌やホームページ等による制度の周知に努める。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	280	コンポスト60基×2,000円、発酵菌式30基×2,000円、電気式10基×10,000円	110	コンポスト21基、発酵菌式12基、電気式6基
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	達成率(販売数):コンポスト35%、発酵菌式40%、電気式60%、前年度より販売総数が12台減。今後も広報誌やホームページ等による制度の周知に努める。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	200	コンポスト25基×2,000円、発酵菌式25基×2,000円、電気式10基×10,000円	157	コンポスト17基、発酵菌式22基、電気式11基
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	達成率(販売数):コンポスト68%、発酵菌式26%、電気式110%、前年度より販売総数が48台増。今後も広報誌やホームページ等による制度の周知に努める。			
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	200	コンポスト25基×2,000円、発酵菌式25基×2,000円、電気式10基×10,000円		
	成果達成状況の分析と今後の方策			
計画期間終了後の最終的な目標値		令和元年度までに420基の販売数を達成する。		
計画期間終了後の最終的な成果値				